

4 舟艇利用の現況

(1) 「海の駅」を利用したマリンレジャーの普及推進

海の駅は、マリンレジャーの普及及び地域・観光振興の観点から、「いつでも、誰でも、気軽に、安心して立ち寄り、利用でき、憩える場所」として全国各地に展開され、平成29年7月末現在、160駅が登録されている。

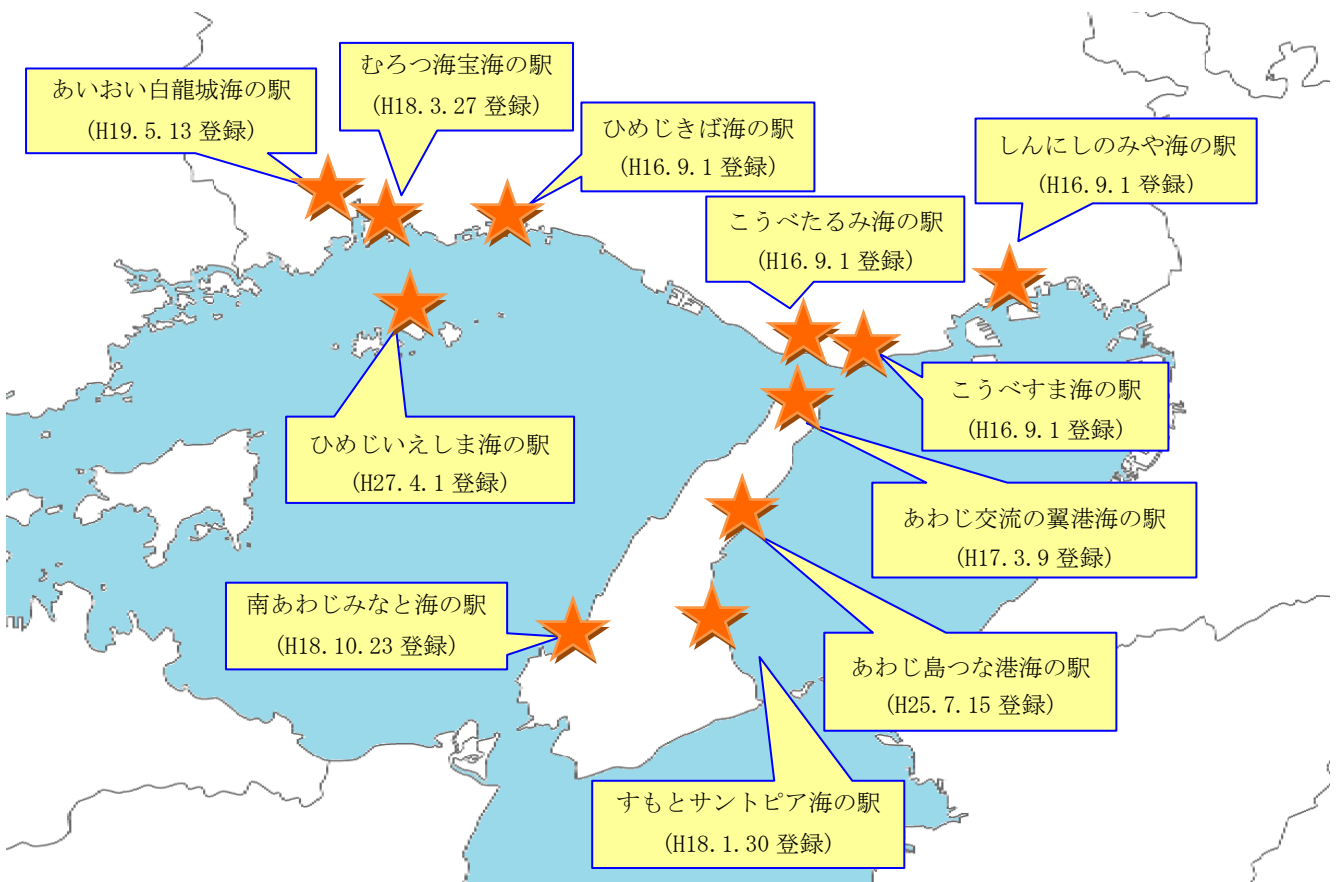
神戸運輸監理部は、海の駅の認定を行う海の駅ネットワークや近隣の運輸局と連携しながら、地域の「海の駅」の利用拡大や交流連携の推進、登録促進を図るとともに、「海の駅」を中核としたマリンレジャー振興のため、各種周知・広報活動を進めている。

管内においては、平成29年7月末現在、11駅が「海の駅」となっている。（管内「海の駅」の所在については、第15図のとおり。）

また、平成28年度におけるマリンレジャーの普及推進に向けた主な取り組みは、以下のとおりである。

- (ア) 海の駅ネットワーク通常総会への出席（平成28年7月14日）
- (イ) 神戸港ポート天国における出展（平成28年7月18日）
- (ウ) 関西フローティングボートショーにおける出展（平成28年10月21日～23日）
- (エ) 関西舟艇利用振興対策連絡会議の開催（平成28年12月14日）
- (オ) 海の駅ネットワーク関西連絡会総会の開催（平成29年3月27日）

第15図 兵庫県内の「海の駅」登録状況（平成29年7月31日現在）



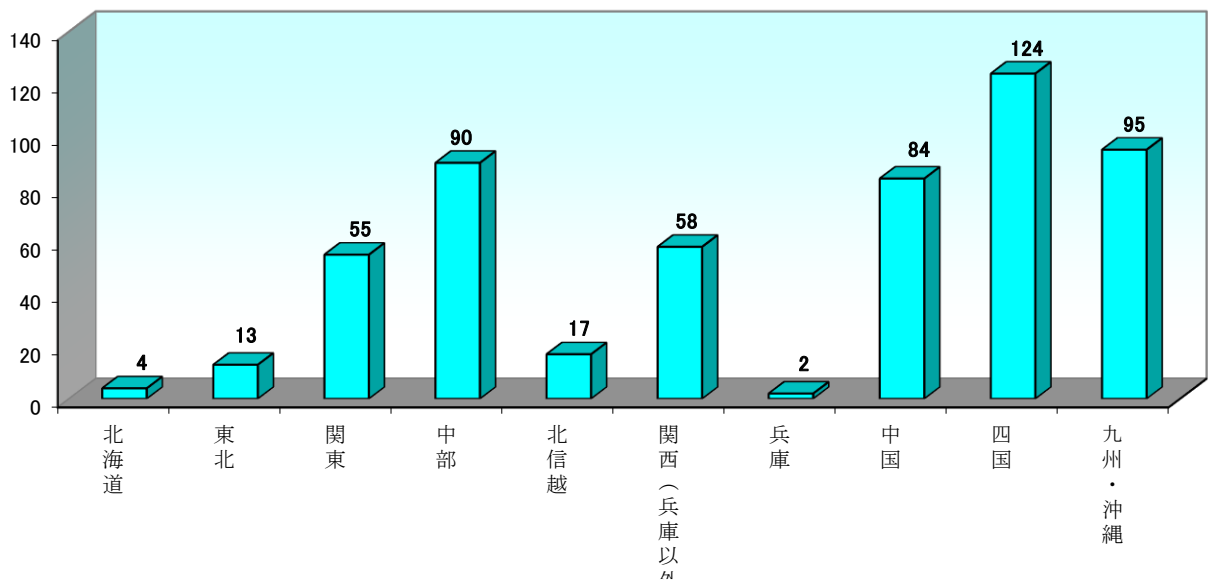
(2) FRP船リサイクルシステムの推進

(一社)日本マリン事業協会が実施している「FRP船リサイクルシステム」は、FRP廃船をセメント原燃料等への再資源化を図るなど、循環型社会の形成を促進するとともに、放置艇対策としても期待されている。

神戸運輸監理部は、同協会と協力して廃船処理の適正化を図る「関西地区廃船処理協議会」において、自治体等関係者間の情報共有や、FRP船リサイクルシステムの広報活動を行い、同システムの利用促進に努めている。

また、同協議会の構成員以外の自治体担当者とも情報交換を行い、一般利用者に向けた同システムの広報活動に対し、協力を依頼している。

第16図 地域別FRP船リサイクル処理実績（平成28年度）



※資料出所：（一社）日本マリン事業協会調べ

